

魚類のダイオキシン類調査結果について

1 趣旨

不法投棄現場下流の杉倉川、熊原川は、県内外から遊漁者が訪れる場所であることから、そこに生息する魚類の食品としての安全性を確認するため、現場下流で採捕したヤマメのダイオキシン類分析調査を実施した。

2 分析調査結果

表 1 に今年度の分析調査結果の一覧を示す。なお、試料については、平成 17 年 8 月中旬に田子町内の熊原川（落合橋付近）で採捕したヤマメ 4 匹の可食部のみ 55.3g を分析に供した。

表 2 には、これまで国が全国で実施し公表した調査結果からヤマメと同種のサケ科の魚類の調査結果を示す。

今回のヤマメの調査結果は 2.5pg-TEQ/g-wet であり、ヤマメを含めたサケ科の魚類の調査結果と比較し、同程度であった。

表 1 ヤマメの分析調査結果一覧表

採捕地点	ダイオキシン類分析結果	備 考
熊原川（落合橋付近）	2.5pg-TEQ/g -wet	採捕時期：平成 17 年 8 月中旬

表 2 公表されている国が実施した魚類（サケ科）のダイオキシン類調査結果

（単位：pg-TEQ/g -wet）

魚 種	濃度範囲	検体数
ヤマメ	0.12 ~ 2.0	8
イワナ	0.080 ~ 5.3	9
ニジマス	0.054 ~ 10	23
ヒメマス	4.1 ~ 4.9	2
アマゴ	0.21 ~ 3.7	4

「平成 11 年度公共用水域等のダイオキシン類調査結果について」（平成 12 年 8 月 25 日環境庁）からヤマメと同種のサケ科の魚類の調査結果を抜粋